

TOYO TIRES

**2021年度通期
決算説明資料**

2022年2月15日

TOYO TIRE 株式会社

資料の内容

1. 2021年度通期連結業績
2. 2022年度通期連結業績予想
3. 中期経営計画「中計'21」進捗状況

本資料に掲載されている業績予想や計画などの将来にわたる部分については、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

従いまして、実際の業績は、さまざまな要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことを十分にご認識の上、ご活用下さい。

(百万円)

	2021年 1-12月実績	2020年 1-12月実績	対前年 増減額	対前年 増減率	2021年 1-12月予想	対予想 増減額	2021年 10-12月実績	対前年 増減額
売上高	393,647	343,764	+49,883	+14.5%	392,000	+1,647	110,839	+13,898
営業利益	53,080	36,328	+16,752	+46.1%	48,000	+5,080	13,417	△865
営業利益率	13.5%	10.6%			12.2%		12.1%	
経常利益	55,909	30,887	+25,021	+81.0%	49,600	+6,309	14,127	+511
当期純利益	41,350	11,682	+29,667	+254.0%	32,800	+8,550	12,483	+10,793

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

1株あたり 年間配当金	76円	45円	+31円	-
----------------	-----	-----	------	---

1USドル	110円	107円	+3円
1ユーロ	130円	122円	+8円

中計'21
重要経営指標

連結営業利益率

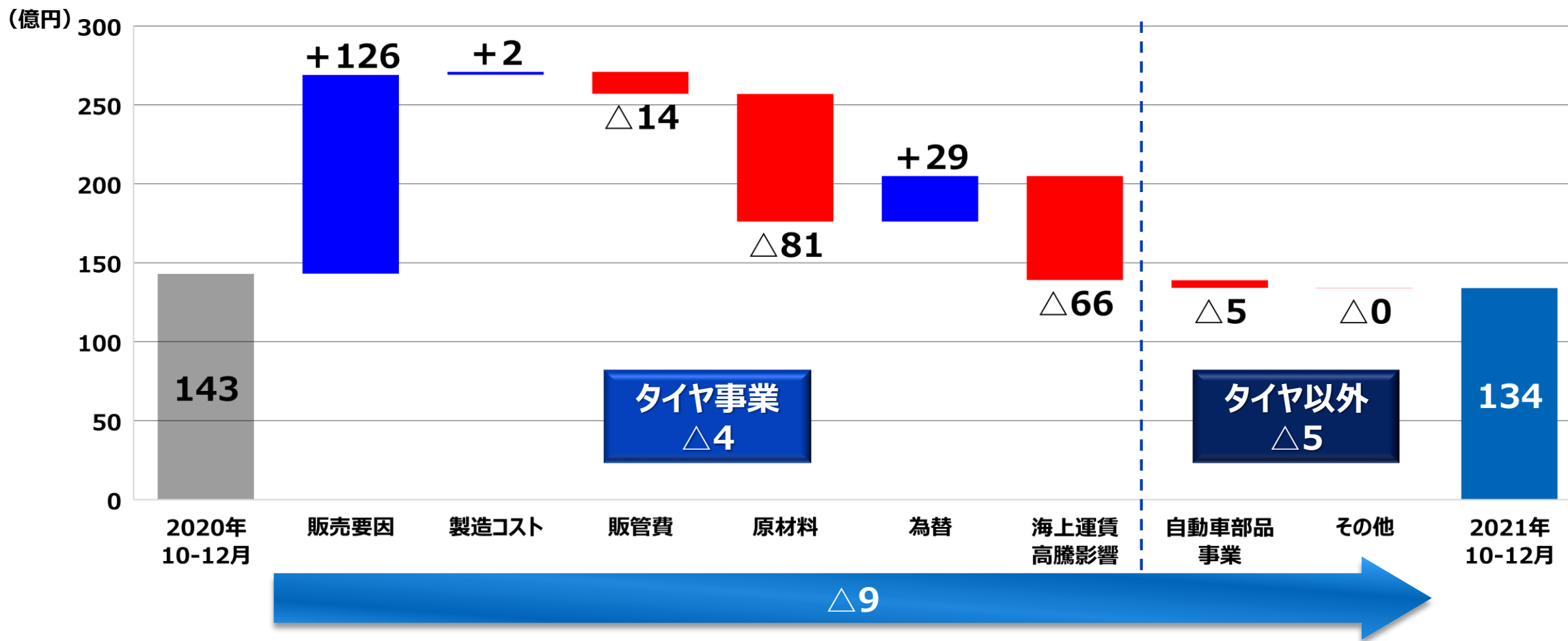
14%超

配当方針

配当性向 30%以上

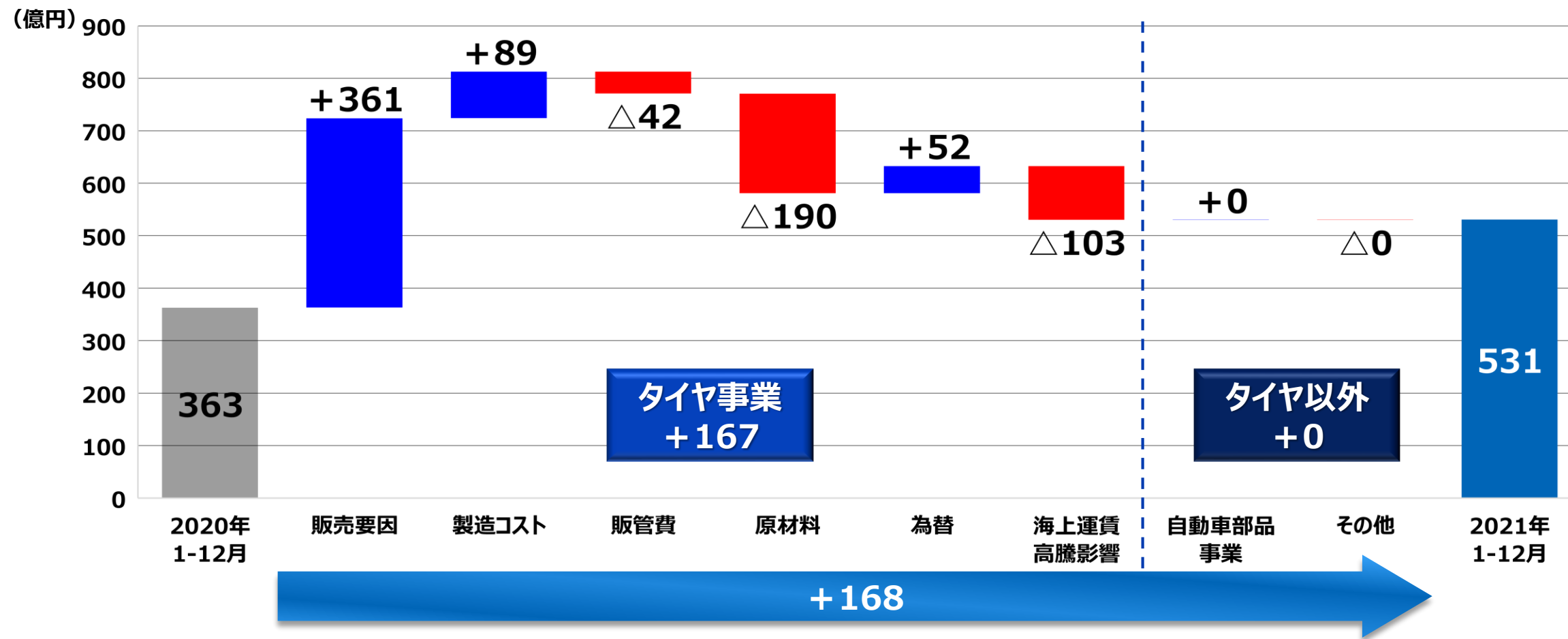
2021年度通期 為替感応度	
USドル	6.5億円/年
ユーロ	1.0億円/年

営業利益ベースで1円の変動につき



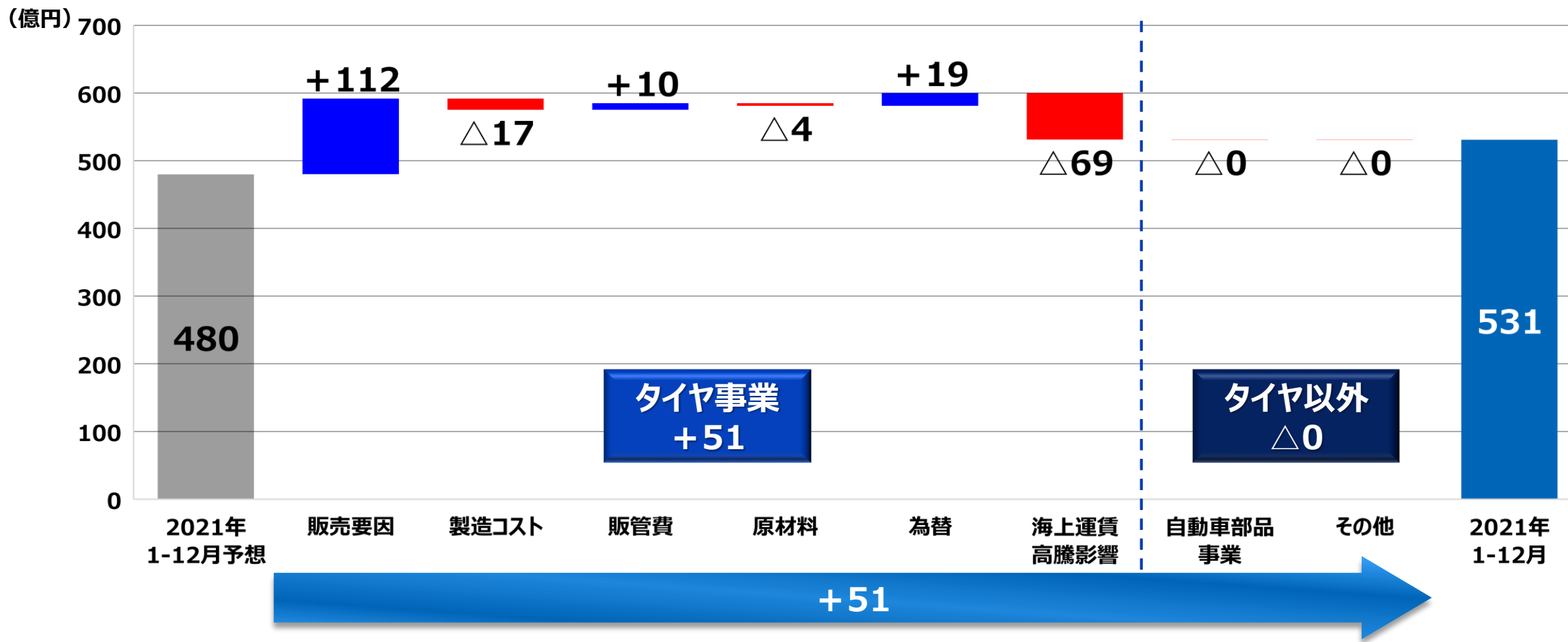
(億円)

	販売要因	製造コスト	販管費	原材料	為替	海上運賃高騰影響	自動車部品事業	その他	合計
1-3月実績	+53	+18	+4	△2	△8	△6	△0	△0	+58
4-6月実績	+120	+51	△16	△37	+15	△9	+9	+0	+133
7-9月実績	+62	+18	△15	△70	+16	△22	△4	△0	△14



(億円)

	販売要因	製造コスト	販管費	原材料	為替	海上運賃高騰影響	自動車部品事業	その他	合計
1-9月実績	+235	+87	△28	△109	+23	△37	+5	△0	+176
10-12月実績	+126	+2	△14	△81	+29	△66	△5	△0	△8



(億円)

	販売 要因	製造 コスト	販管費	原材料	為替	海上運賃 高騰影響	自動車 部品事業	その他	合計
1-12月実績	+361	+89	△42	△190	+52	△103	+0	△0	+168
1-12月予想	+249	+106	△52	△185	+33	△34	+0	△0	+117

売上高

(百万円)

	2021年 1-12月実績	2020年 1-12月実績	対前年 増減額	対前年 増減率	2021年 1-12月予想	対予想 増減額	2021年 10-12月実績	対前年 増減額
タイヤ	354,641	306,609	+48,032	+15.7%	350,000	+4,641	100,672	+14,754
自動車部品	38,979	37,110	+1,868	+5.0%	42,000	△3,021	10,162	△850
その他	79	122	△42	△35.2%	0	+79	16	△13
調整額	△51	△76	+25	—	0	△51	△11	+8
合計	393,647	343,764	+49,883	+14.5%	392,000	+1,647	110,839	+13,898

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含む。

営業利益

	2021年 1-12月実績	2020年 1-12月実績	対前年 増減額	対前年 増減率	2021年 1-12月予想	対予想 増減額	2021年 10-12月実績	対前年 増減額
タイヤ	55,089	38,342	+16,746	+43.7%	50,000	+5,089	13,928	△387
営業利益率	15.5%	12.5%			14.3%		13.8%	
自動車部品	△2,008	△2,020	+12	—	△2,000	△8	△511	△471
営業利益率	△5.2%	△5.4%			△4.8%		△5.0%	
その他	14	44	△29	△68.2%	0	+14	3	△13
調整額	△15	△38	+22	—	0	△15	△3	+7
合計	53,080	36,328	+16,752	+46.1%	48,000	+5,080	13,417	△865

※セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去額等を含む。

売上高

(百万円)

	2021年 1-12月実績	2020年 1-12月実績	対前年 増減額	対前年 増減率	2021年 1-12月予想	対予想 増減額	2021年 10-12月実績	対前年 増減額
日本	104,168	101,325	+2,843	+2.8%	109,400	△5,232	34,091	△1,093
北米	229,318	185,930	+43,387	+23.3%	224,000	+5,318	60,471	+12,381
その他	60,161	56,508	+3,652	+6.5%	58,600	+1,561	16,276	+2,611
消去または全社	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	393,647	343,764	+49,883	+14.5%	392,000	+1,647	110,839	+13,898

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含まず。

営業利益

	2021年 1-12月実績	2020年 1-12月実績	対前年 増減額	対前年 増減率	2021年 1-12月予想	対予想 増減額	2021年 10-12月実績	対前年 増減額
日本	28,942	21,191	+7,751	+36.6%	35,300	△6,358	6,436	△4,654
北米	17,057	11,480	+5,576	+48.6%	10,000	+7,057	4,255	+2,079
その他	4,920	4,114	+806	+19.6%	2,700	+2,220	1,677	△158
消去または全社	2,159	△458	+2,618	—	0	+2,159	1,047	+1,867
合計	53,080	36,328	+16,752	+46.1%	48,000	+5,080	13,417	△865

(百万円)

	2021年 1-3月	2021年 4-6月	2021年 7-9月	2021年 10-12月	2021年 1-12月累計	2015年度 通期累計	2016年度 通期累計	2017年度 通期累計	2018年度 通期累計	2019年度 通期累計	2020年度 通期累計
55棟	—	—	—	—	—	23,063	17,034	608	8,794	—	568
99棟	—	—	—	—	—	7,386	35,068	12,281	2,360	—	1,698
諸費用	299	242	254	193	989	12,104	10,418	3,156	4,858	3,365	3,507
補償費用等	—	45	9	38	94	4,119	4,260	2,590	1,516	645	1,406
合計	299	287	264	232	1,083	46,674	66,781	18,637	17,529	4,010	7,178

注) 55棟：2015年3月13日公表分、99棟：2015年4月21日公表分

項目内訳

2021年 10-12月	55棟および99棟における交換用の免震製品代金や改修工事費用は計上なし。 諸費用（主として免震ゴム対策本部人件費等）、補償費用等、約2億円を計上。
2022年以降	現時点で合理的に金額を見積もることが困難なもので、今後発生する費用がある場合には、対処 進行状況等によって追加計上する可能性あり
交換・改修の実績 (12月末日現在)	55棟（G039）：54棟着工（うち製品交換の完了 54棟） 99棟（G039以外）：97棟着工（うち製品交換の完了 95棟）

(百万円)

	2022年 1-12月予想	2021年 1-12月実績	対前年 増減額	対前年 増減率
売上高	455,000	393,647	+61,352	+15.6%
営業利益	44,500	53,080	△8,580	△16.2%
営業利益率	9.8%	13.5%		
経常利益	44,600	55,909	△11,309	△20.2%
当期純利益	29,600	41,350	△11,750	△28.4%

	2022年 1-6月予想	対前年 増減額	2022年 7-12月予想	対前年 増減額
	215,700	+29,307	239,300	+32,044
	20,100	△6,858	24,400	△1,722
	9.3%		10.2%	
	20,100	△9,119	24,500	△2,189
	13,300	△7,373	16,300	△4,377

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

	2022年 1-12月予想	2021年 1-12月実績	対前年 増減額
1株あたり 年間配当金	58円	76円	△18円

1USDドル	112円	110円	+2円
1ユーロ	128円	130円	△2円

中計'21
重要経営指標

連結営業利益率

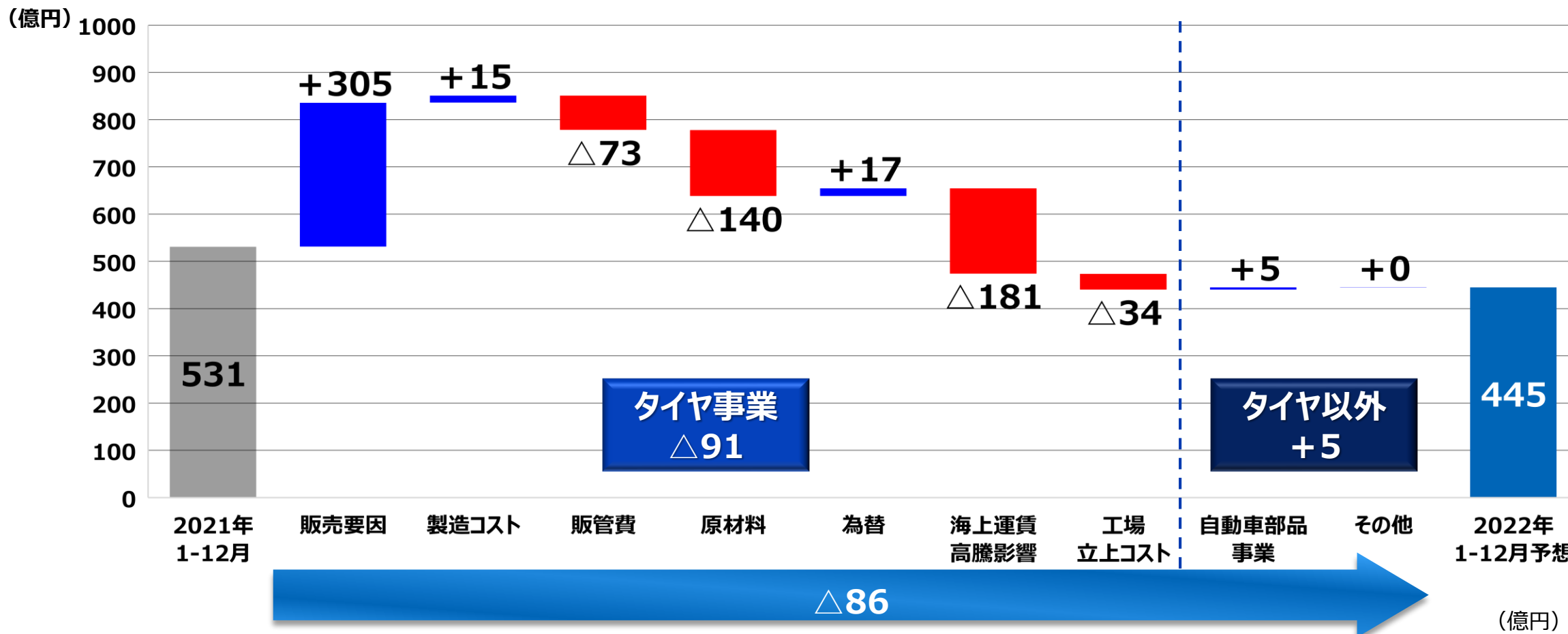
14%超

配当方針

配当性向 30%以上

2022年度通期 為替感応度	
USDドル	7.0億円/年
ユーロ	1.0億円/年

営業利益ベースで1円の変動につき



	販売要因	製造コスト	販管費	原材料	為替	海上運賃高騰影響	工場立上コスト	自動車部品事業	その他	合計
1-6月予想	+201	△16	△42	△124	+21	△95	△14	+0	△0	△69
7-12月予想	+105	+30	△31	△16	△4	△86	△20	+5	+0	△17
2021年 1-12月実績	+361	+89	△42	△190	+52	△103	-	+0	△0	+168

売上高

(百万円)

	2022年 1-12月予想	2021年 1-12月実績	対前年 増減額	対前年 増減率
タイヤ	408,000	354,641	+53,358	+15.0%
自動車部品	47,000	38,979	+8,020	+20.6%
その他	0	79	△79	—
調整額	0	△51	+51	—
合計	455,000	393,647	+61,352	+15.6%

	2022年 1-6月予想	対前年 増減額	2022年 7-12月予想	対前年 増減額
	192,000	+25,511	216,000	+27,847
	23,700	+3,815	23,300	+4,205
	0	△47	0	△32
	0	+28	0	+23
	215,700	+29,307	239,300	+32,044

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含む。

営業利益

	2022年 1-12月予想	2021年 1-12月実績	対前年 増減額	対前年 増減率
タイヤ	46,000	55,089	△9,089	△16.5%
営業利益率	11.3%	15.5%		
自動車部品	△1,500	△2,008	+508	—
営業利益率	△3.2%	△5.2%		
その他	0	14	△14	—
調整額	0	△15	+15	—
合計	44,500	53,080	△8,580	△16.2%

	2022年 1-6月予想	対前年 増減額	2022年 7-12月予想	対前年 増減額
	21,000	△6,888	25,000	△2,201
	10.9%		11.6%	
	△900	+38	△600	+469
	△3.8%		△2.6%	
	0	△16	0	+2
	0	+7	0	+8
	20,100	△6,858	24,400	△1,722

※セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去額等を含む。

売上高

(百万円)

	2022年 1-12月予想	2021年 1-12月実績	対前年 増減額	対前年 増減率
日本	112,700	104,168	+8,531	+8.2%
北米	276,200	229,318	+46,881	+20.4%
その他	66,100	60,161	+5,938	+9.9%
消去または全社	—	—	—	—
合計	455,000	393,647	+61,352	+15.6%

	2022年 1-6月予想	対前年 増減額	2022年 7-12月予想	対前年 増減額
	48,900	+1,447	63,800	+7,084
	132,600	+23,564	143,600	+23,317
	34,200	+4,296	31,900	+1,642
	—	—	—	—
	215,700	+29,307	239,300	+32,044

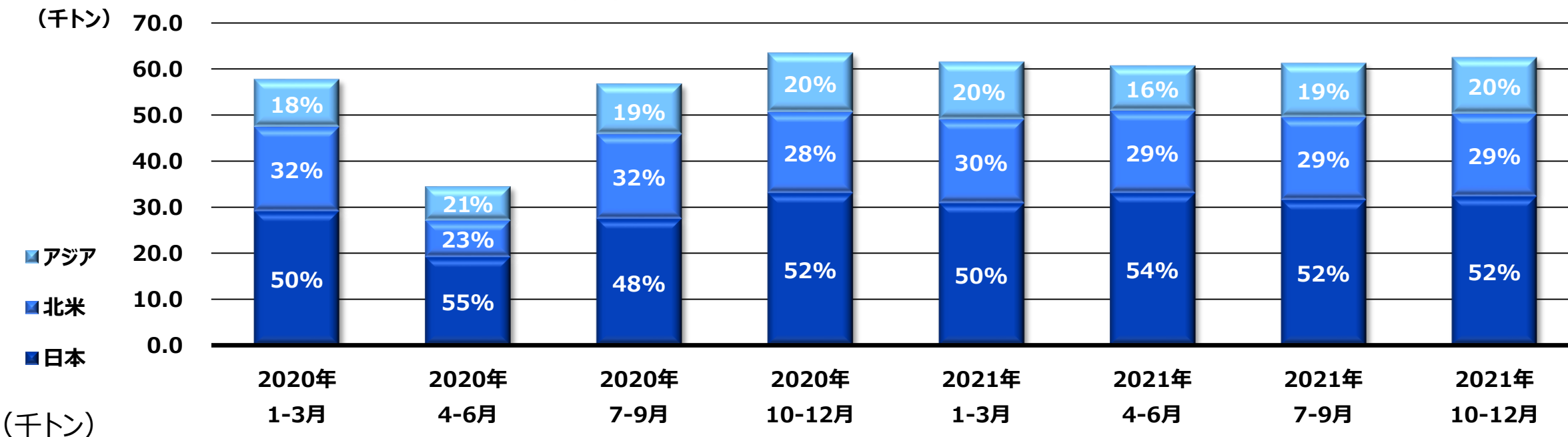
※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含まず。

営業利益

	2022年 1-12月予想	2021年 1-12月実績	対前年 増減額	対前年 増減率
日本	30,000	28,942	+1,057	+3.7%
北米	13,100	17,057	△3,957	△23.2%
その他	2,000	4,920	△2,920	△59.3%
消去または全社	△600	2,159	△2,759	—
合計	44,500	53,080	△8,580	△16.2%

	2022年 1-6月予想	対前年 増減額	2022年 7-12月予想	対前年 増減額
	11,300	△4,445	18,700	+5,503
	6,300	△1,804	6,800	△2,152
	1,400	△1,310	600	△1,610
	1,100	+702	△1,700	△3,462
	20,100	△6,858	24,400	△1,722

※ 棒グラフ数値は地域別生産量構成比 (%)



	2020年				
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-12月
日本	29.1	19.2	27.5	33.1	108.8
北米	18.3	8.0	18.3	17.6	62.2
アジア	10.3	7.4	10.9	12.8	41.4
合計	57.7	34.5	56.7	63.4	212.3

2021年				
1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-12月
30.9	33.0	31.6	32.3	127.7
18.2	17.9	17.9	17.9	71.9
12.4	9.7	11.7	12.2	46.0
61.5	60.6	61.2	62.4	245.7

	2022年 1-12月計画
日本	131.8
北米	77.4
アジア	48.0
欧州	2.7
合計	259.9
前年比率	106%

前年比率	94%	56%	93%	103%	86%
------	-----	-----	-----	------	------------

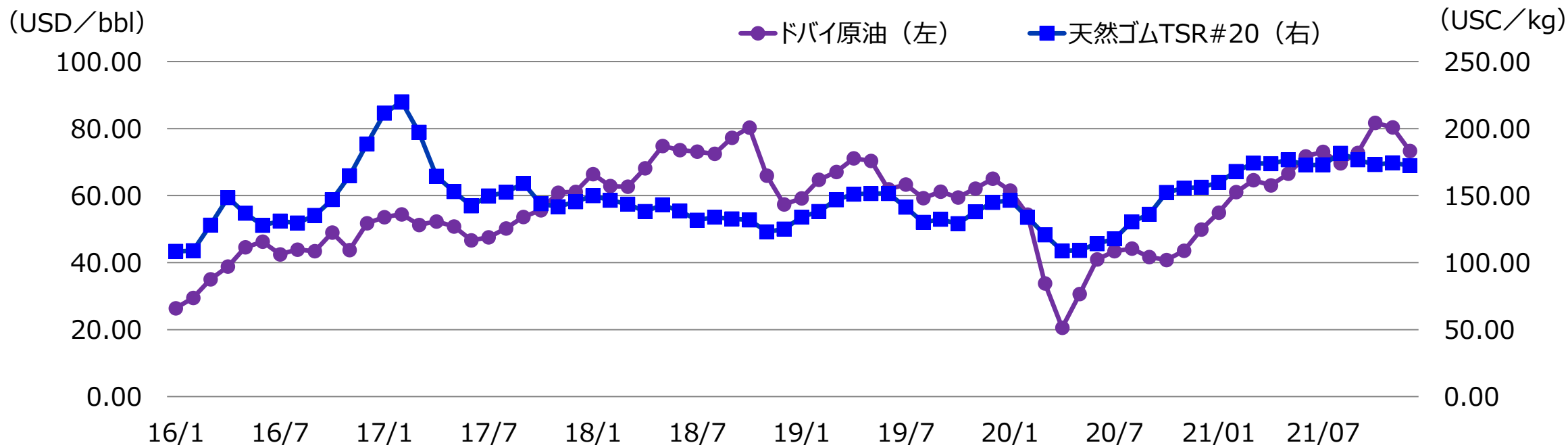
107%	176%	108%	98%	116%
------	------	------	-----	-------------

※ 前年同期間を100とした場合の前年比率 (%)

(%)

	2020年					2021年					2022年 1-12月計画
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-12月	
国内外新車	82	38	81	109	77	103	210	76	86	104	129
国内市販	98	89	81	115	96	108	105	97	103	103	102
海外市販	95	82	98	96	93	101	133	87	102	103	102
うち北米	88	98	104	98	97	125	133	93	104	111	109
うち欧州	100	70	100	95	93	74	163	76	123	97	95
うち東南アジア	103	61	97	91	87	76	92	46	66	68	85
合計	93	75	92	102	91	102	135	87	99	103	106

ドバイ原油、天然ゴムTSR#20価格推移 (SICOM)

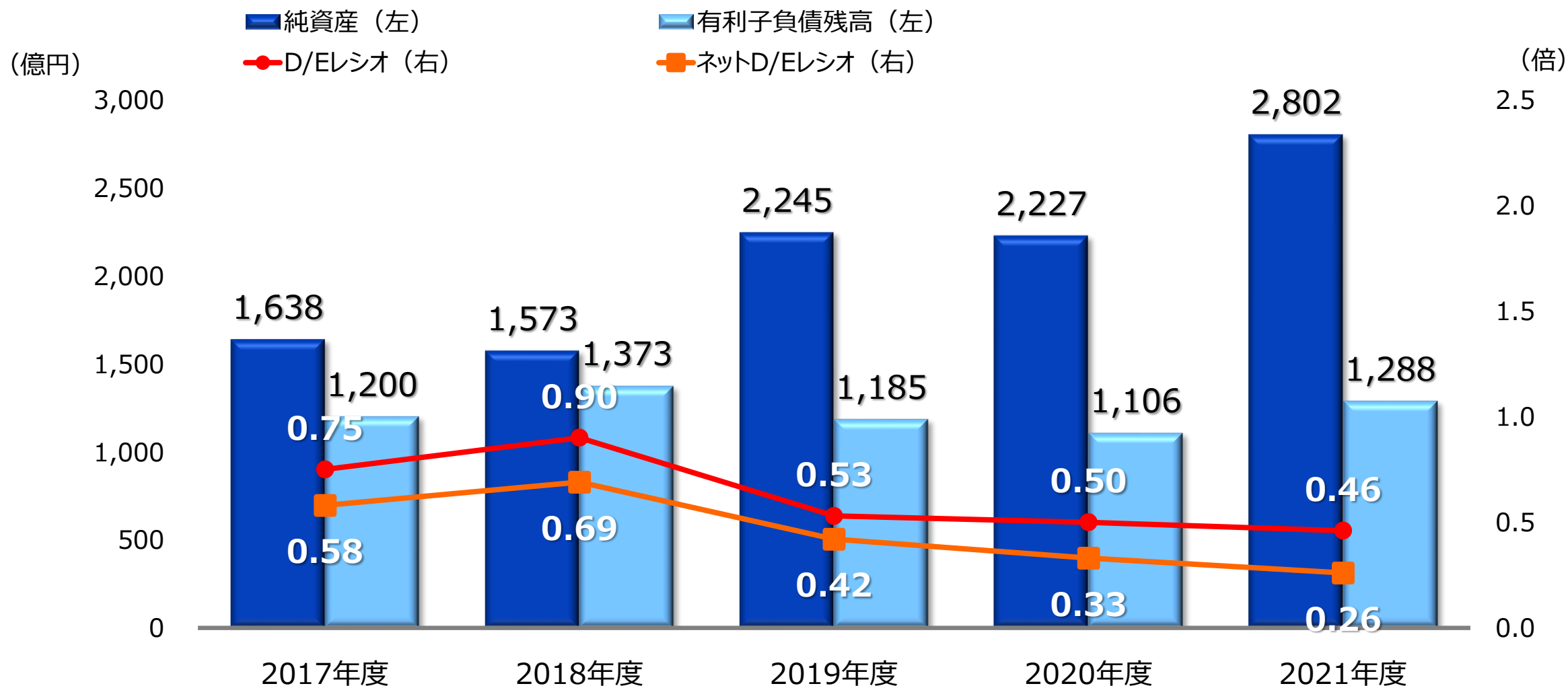


価格変動影響額 (営業利益ベース)

(億円)

	2020年					2021年					2022年 1-12月計画
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-12月	
天然ゴム	△0	+0	+3	+3	+6	△6	△12	△16	△13	△47	△15
石化品	+13	+9	+21	+11	+54	+4	△19	△43	△52	△110	△74
その他原材料	+6	+4	+5	△1	+13	+1	△7	△10	△17	△33	△51
合計	+18	+14	+29	+13	+73	△2	△37	△70	△81	△190	△140

(ご参考) 有利子負債残高と自己資本比率の推移



自己資本比率

33.6%

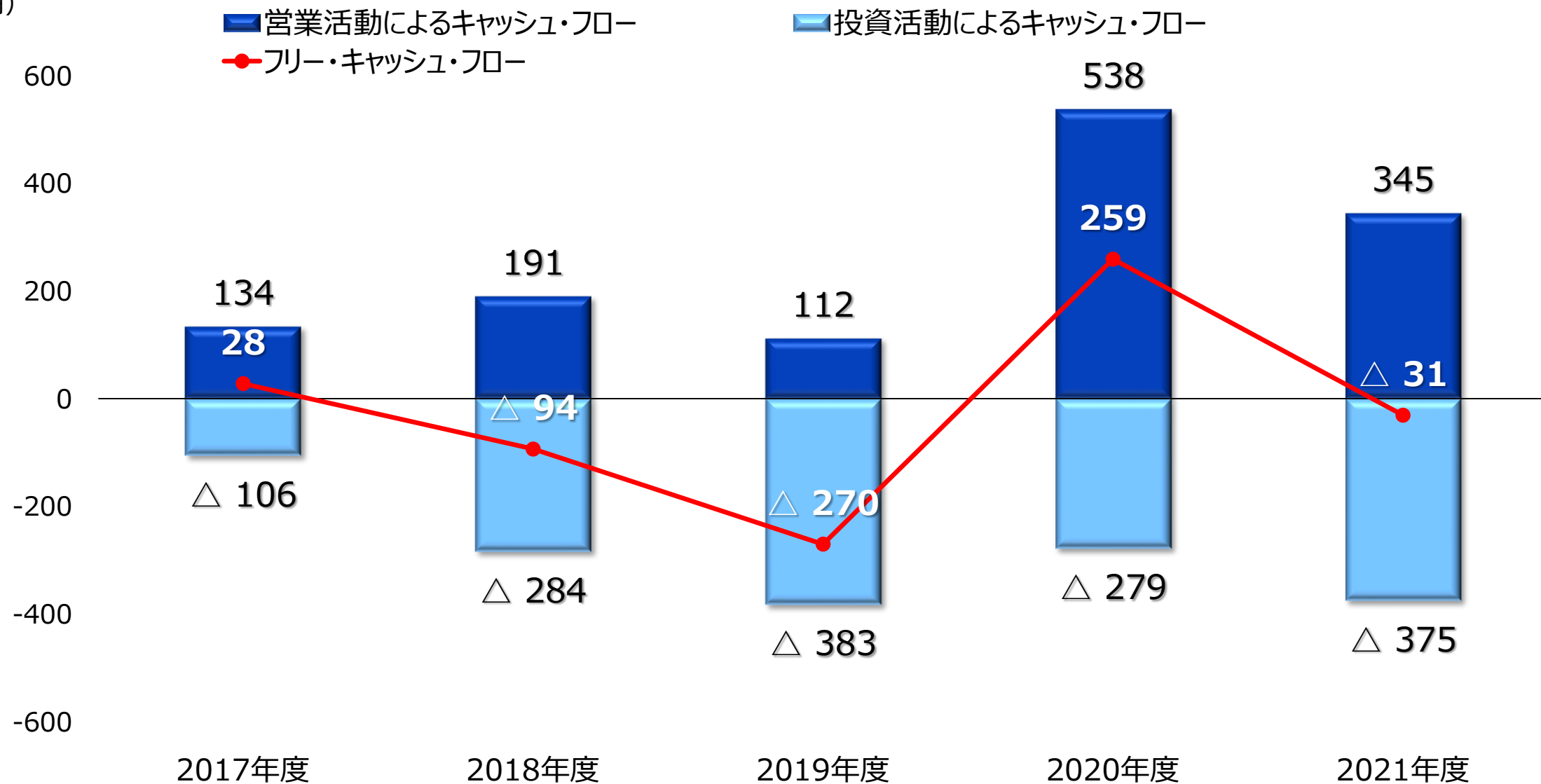
32.5%

47.5%

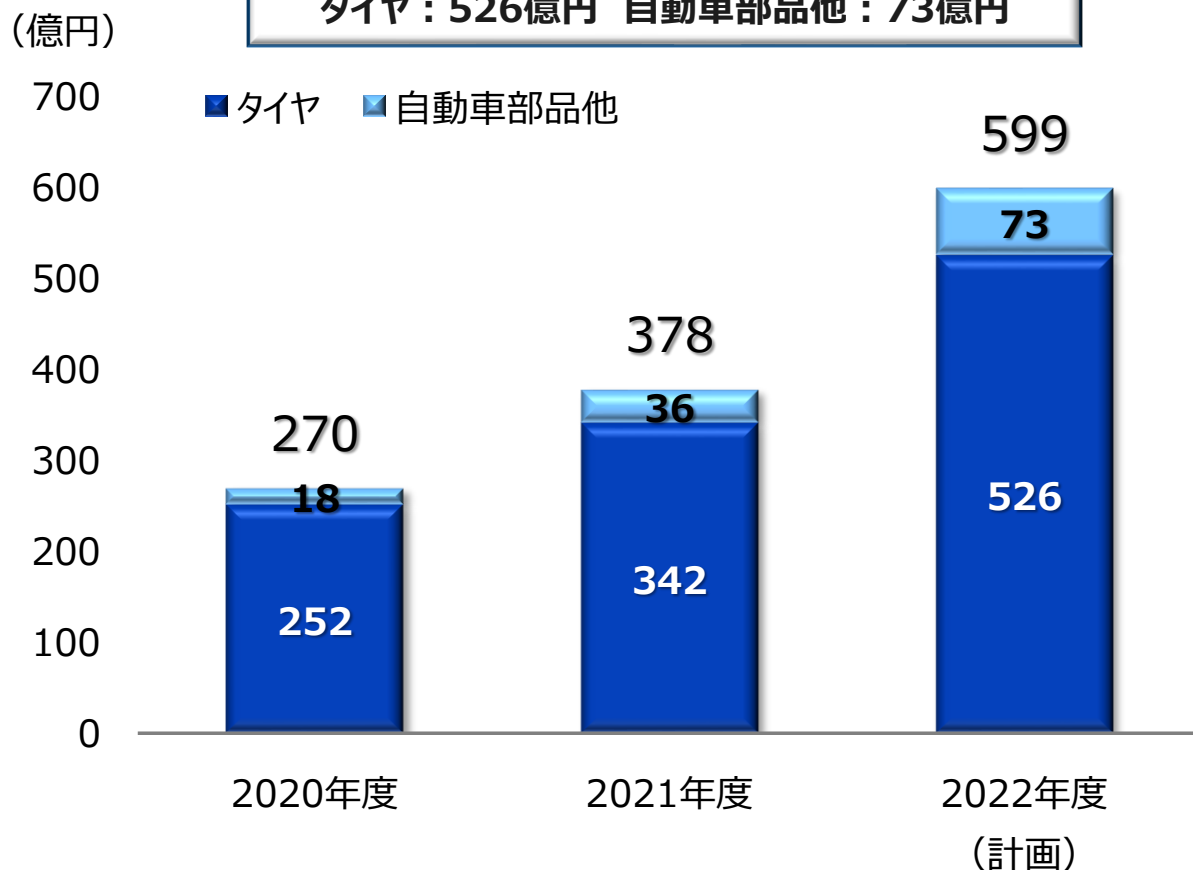
49.5%

52.7%

(億円)

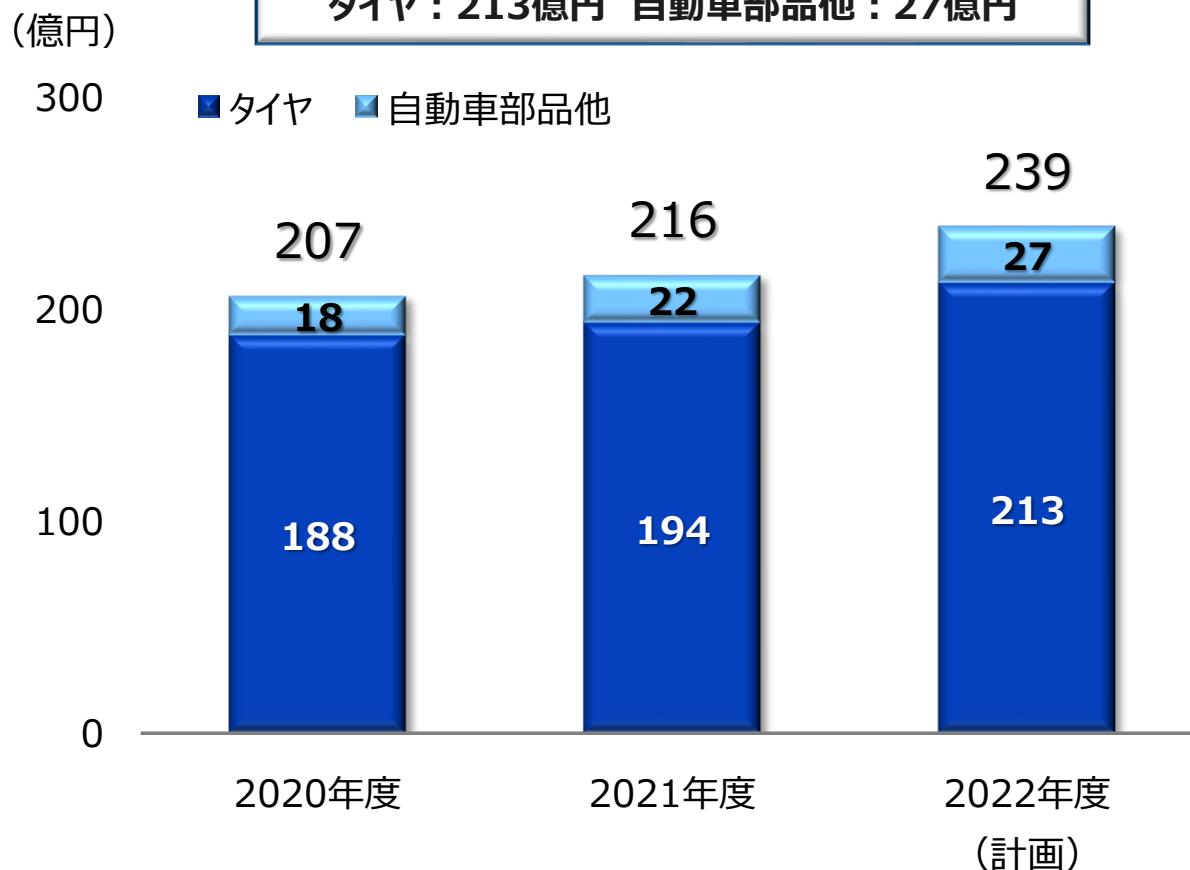


設備投資



※2020年度から無形固定資産含む

減価償却費



※2020年度から無形固定資産含む

中期経営計画「中計'21」進捗状況

グローバルでの全機能連携を通じ、**変化へ迅速・柔軟に適応する力**を強化

重点商品の販売促進



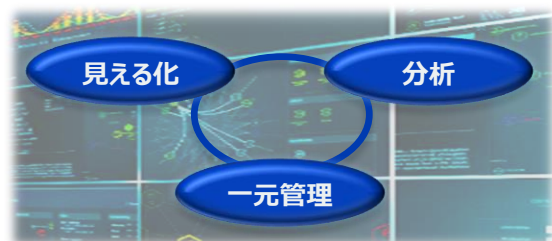
需給のグローバル一元管理
による物流コスト低減



3極R&D体制の強化
差別化商品力向上



効率性・採算性を徹底追求する
データドリブン経営へ



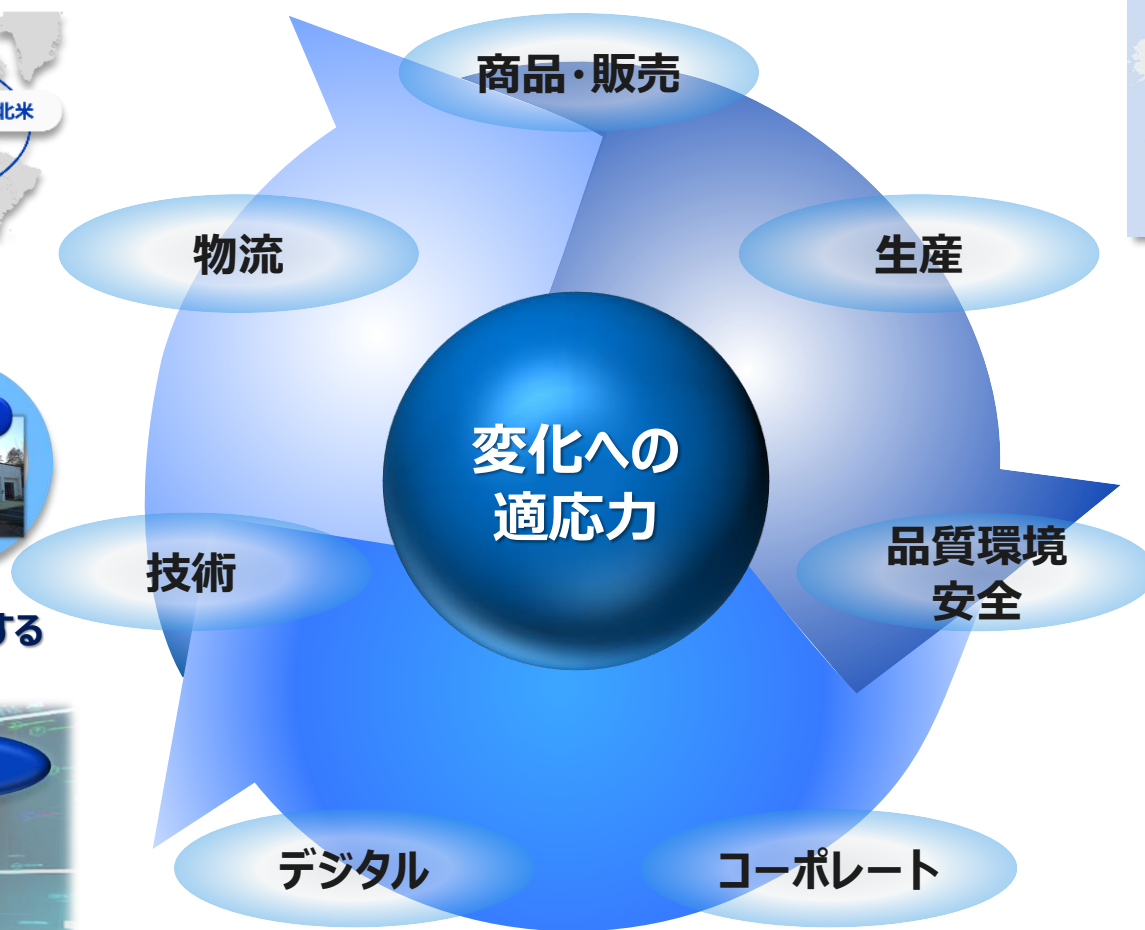
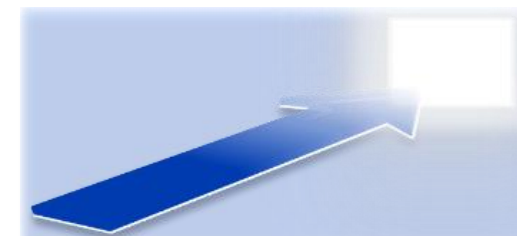
地産地消戦略を核とした
高効率生産の実現



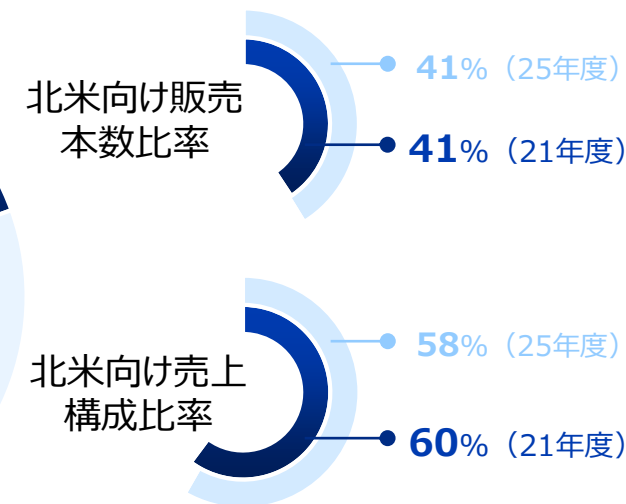
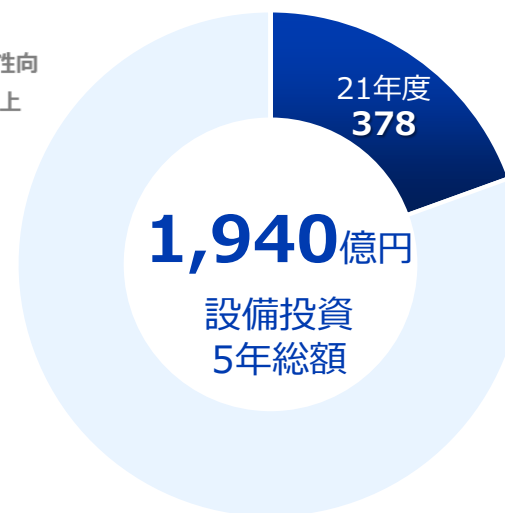
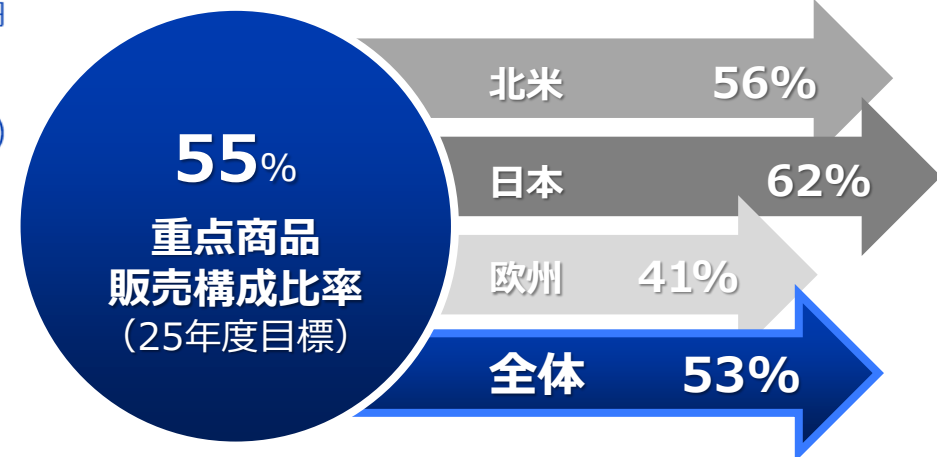
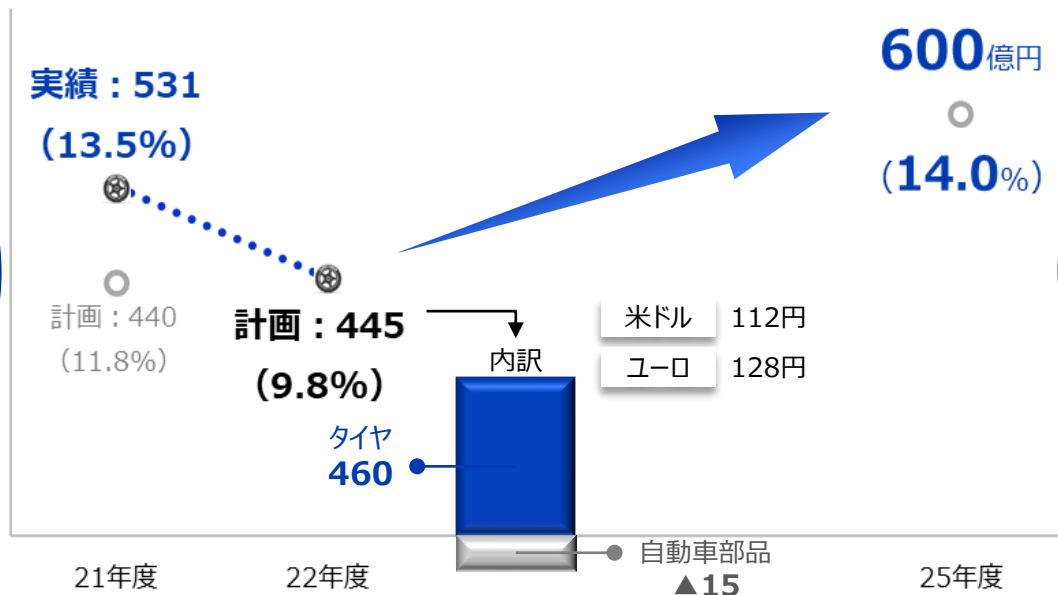
顧客満足度向上に資する
プロセス保証による品質作り込み



持続的な成長を支える
“一歩先”の経営基盤へ



環境変化に柔軟に適応し、中計初年度は順調な滑り出しを実現



*WLTR=ワイドライトトラック用タイヤ

ニーズを捉えた新商品の開発・継続的市場投入



WLTR*をはじめ旺盛な需要 圧倒的ポジションの堅守



北米販売シェア5位へ
地盤固めを推進

ユーザー起点のマーケティング推進 レース活動を通じた性能・ブランド力向上

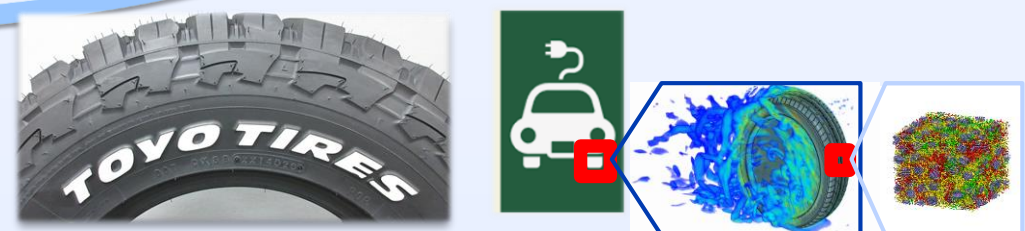


第54回SCORE BAJA 1000



SEMA SHOW2021

SUV・ピックアップトラックEV化対応 SUV・CUV向け差別化商品の開発



欧州

日・欧R&Dが連携した
高機能商品の投入



PROXES Comfort

21年3月上市



CELSIUS AS2

21年10月上市

レース参戦による
ブランド力強化



ダカールラリー2022市販車クラス
当社品装着車が優勝

日本

高趣向性・高機能商品を投入 営業網・物流体制最適化の推進



PROXES CL1 SUV

21年1月上市



OPEN COUNTRY A/T EX

21年5月上市

三菱商事ネットワークを
活用したタイヤ増販加速



営業所
営業所
営業所
販売拠点の統廃合
物流拠点の集約



アジア

TOYOブランド
販売ネットワークの拡充



TOYOファミリー
チャンネル

マレーシア工場を軸に
TOYOブランド品を増販



SILVERSTONEから
TOYOブランドへの切替促進



ブランドアンバサダー起用
(ツンクー・ジャン・レイ)

デジタルマーケティング
強化



スーパーブランドアワード
マレーシア受賞

新車向け

タイヤ

SUV・EV・プレミアムブランド
中心に受注活動推進

最先端自動車技術は
EV向けに照準

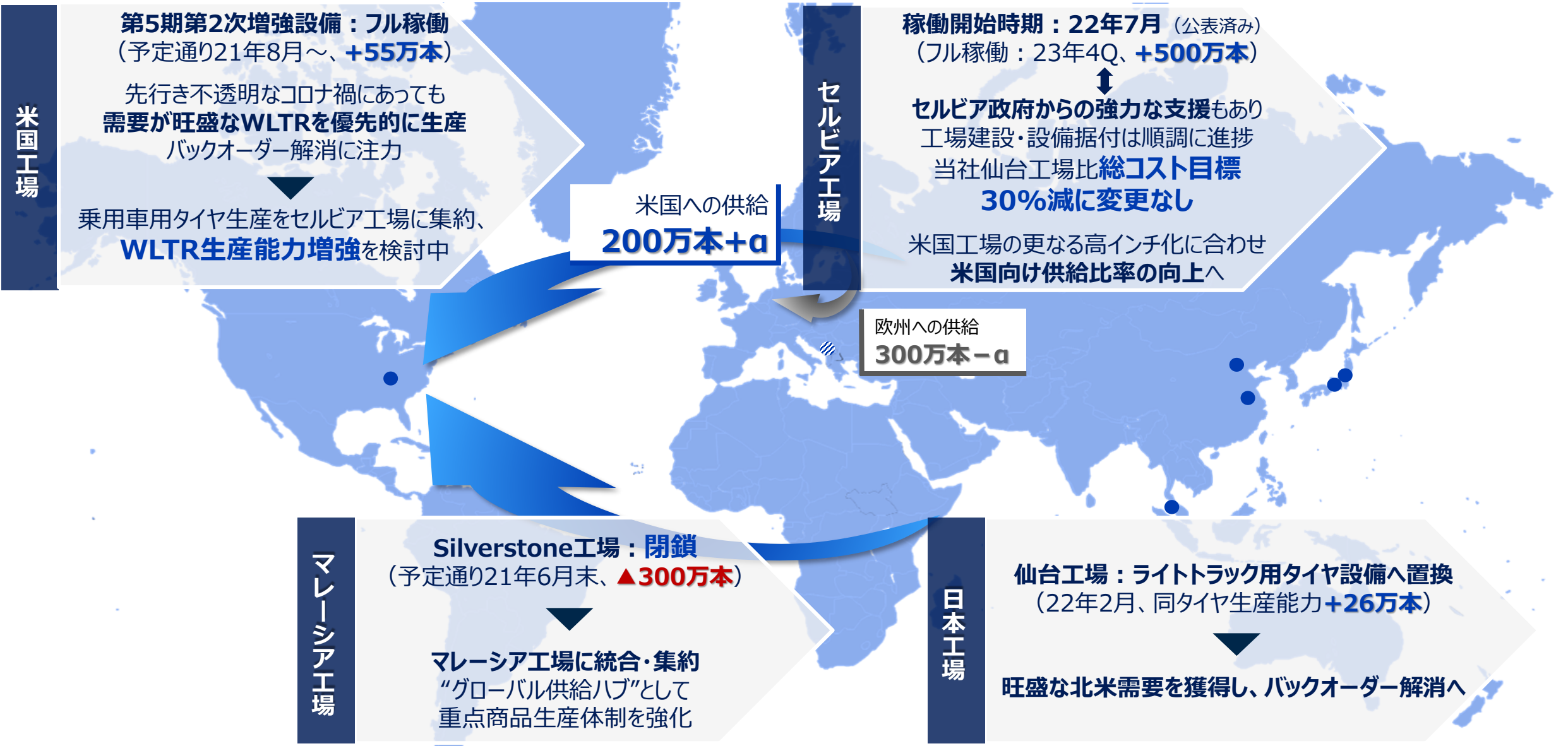


自動車部品

高付加価値商品の
受注活動推進



企業価値向上へ
サプライヤーとしての
優位性を追求



米国工場

第5期第2次増強設備：フル稼働
(予定通り21年8月～、+55万本)

先行き不透明なコロナ禍にあっても
需要が旺盛なWLTRを優先的に生産
バックオーダー解消に注力

乗用車用タイヤ生産をセルビア工場に集約、
WLTR生産能力増強を検討中

セルビア工場

稼働開始時期：22年7月（公表済み）
(フル稼働：23年4Q、+500万本)

セルビア政府からの強力な支援もあり
工場建設・設備据付は順調に進捗
当社仙台工場比総コスト目標
30%減に変更なし

米国工場の更なる高インチ化に合わせ
米国向け供給比率の向上へ

米国への供給
200万本+a

欧州への供給
300万本-a

マレーシア工場

Silverstone工場：閉鎖
(予定通り21年6月末、▲300万本)

マレーシア工場に統合・集約
“グローバル供給ハブ”として
重点商品生産体制を強化

日本工場

仙台工場：ライトトラック用タイヤ設備へ置換
(22年2月、同タイヤ生産能力+26万本)

旺盛な北米需要を獲得し、バックオーダー解消へ



BPR（業務改革）の推進

DXによる物流・国内営業体制の再構築・新業務設計



新ERP（基幹業務システム）稼働開始

セルビア工場・カナダ販売会社で先行導入

本社・グローバル拠点に順次展開



データ基盤整備

データドリブン経営の礎となるデータ基盤の整備に着手

ソリューション・サービス事業創出

摩耗予測モデル

摩耗予測技術を可視化したアプリを開発（トラック・バス用タイヤ）

お客様と協働で、ビジネス化の実証実験を開始

タイヤ力検知モデル

公道実験により

「タイヤ力検知モデル」と「使用環境に適合したシステム」検証を実施



再発防止策の進捗状況につきましては、四半期ごとに当社ホームページでの公表を継続して参ります。

IR情報 一覧 >

- 2021.12.27 適時開示 ▶ 新市場区分における「プライム市場」の選択申請に関するお知らせ (84KB) PDF
- 2021.11.12 適時開示 ▶ 2021年度第3四半期 決算説明資料 (1,853KB) PDF
- 2021.11.12 決算 ▶ 2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結) (388KB) PDF

新型コロナウイルス感染拡大に関する対応 > メールニュース配信登録 >

① 重要なお知らせ > **免震ゴム/防振ゴム問題への対応について >**

免震ゴム/防振ゴム問題への対応について

このたびの免震ゴム問題、および防振ゴム問題により、多くの関係者の皆様に多大なご迷惑をおかけしてまことを心より深くお詫び申し上げます。
一日も早くご負担の解消、問題の解決を実現できるよう真摯に尽力してまいります。
これから、一人ひとりが固い意志を持って「再発防止の徹底と継続」に取り組み、そして、「世の中に求められる企業」に生まれ変わるよう、グループをあげて再生を果たしてまいります。

新着情報

2021.11.12 ページ更新 ▶ 免震ゴム問題の「交換・改修に向けた進捗について」を更新しました

- 免震ゴム/防振ゴム問題への対応について
- ▶ 信頼回復に向けて
- ▶ 免震ゴム問題への対応について
- ▶ 防振ゴム問題への対応について
- ▶ 関連プレスリリース
- ▶ **進捗報告**

進捗報告

○ 再発防止策の進捗について (2021年11月12日公表分)

■ 品質保証改善並びにコンプライアンス啓発強化

全事業にわたる
全社的監査の継続 >

CI明石工場の
コミュニケーション活動 >

品質保証・管理体制
の構築 >

生産拠点における作業・
監督体制/教育の継続 >

コンプライアンス
強化徹底 >

■ コーポレート基盤の継続的改善、充実

ガバナンスの強化徹底 >

不正行為の早期探知、
危機管理の実践 >

社員教育の徹底と
企業風土の抜本的改革 >

免震ゴム/防振ゴム問題への対応について → 進捗報告
(<https://www.toyotires.co.jp/responsibility/progress/>)

TOYO TIRES

DAKAR RALLY 2022

市販車部門優勝



OPEN COUNTRY M/T-R

TOYO TIRES